

週刊 名古屋市議団ニュース ～南区版～



日本共産党 名古屋市議団
市議員 高橋ゆうすけ事務所
名古屋市南区氷室町15-13
TEL 052(692)4312
FAX 052(692)1466

日本共産党名南学区後援会 市政懇談会開催

7月29日(水)、日本共産党名南学区後援会が主催して市政懇談会を開催しました。まずはじめに高橋から、6月定例会の報告を行い、その後出席した方たちからも「この地域では市バスの本数も少なくして使い勝手が良い。名鉄でも敬老パスが使えるようになればいけるところがさらに広がる」「臨時教員の知り合いがいるけれど、今のままだと給料が大幅に減ると聞いてびっくりしている」「私たちの生活をよくしていくために何かできることはあるか?」など、市政への要望や市政にどうかかわ

るかなどの意見がたくさん出されました。高橋からは、議員が地域の要望をたくさん聞き取り、解決することもあるが、地域のみなさんの運動があつて地元の要求として市に出されることもとても大切。お願いも含めてできることはたくさんあるということもアドバイスをしました。

7月29日(水)、

その後、今不安に感じていることについてでも出し合いました。多くの皆さんから「戦争を体験してきたが、二度とあ



名古屋市教育委員会教科書採択 戦争賛美の教科書は不採択

名古屋市教育委員会は臨時会を開催し、来月4月から使われる中学校公民、地理、歴史の各教科書の採択を行いました。

教科書採択に先駆けて、市内6箇所で開催されていた教科書展示会で中学校教科書に寄せられた市民の意見は1664通。前回と比べ5倍弱。審議の中で市教委事務局は「侵略戦争を美化し戦争を肯定する教科書はふさわしくないとの声が86%を占めた」とのべました。

服部はつ代委員長は意見が割れたことを理由に無記名投票を提案。1回目の採決で教育出版3、育鵬社2、東京書籍1。上位2社による決選投票で教育出版

が採択、公民は東京書籍4、日本文教出版2で東京書籍が採択されました。投票による教科書採択は名古屋市教委では初めてです。

服部委員長は、教科書展示会で8割超が侵略美化教科書の採択を求めていたことについて「多様な意見の一つとしての参考」としました。今回の委員会は傍聴席40に対して78人の希望者が殺到するなど、市民の関心の高さがうかがえました。



教育委員会の前で「育鵬社採択をやめて」と訴える新婦人のメンバー

反核平和マラソン 愛知を走る!

7月31日(金)、新日本スポーツ連盟主催の反核平和マラソンが愛知県内を走り、途中の熱田神宮公園で歓迎交流会を行い、新日本スポーツ愛知県連盟のみならずととも高橋も歓迎・応援のメールをおくりました。

福島県浪江町から長崎県まで通して走る園生一行さんがランナーを代表して「福島は風化と風評被害の二つの風が吹いている。この風をマラソンで吹き飛ばしたい」と決意を話しました。

『帰ってきた日章旗』の著者で愛知県連盟会長の青木正雄さんからは、69年ぶりに父親の遺品として手元に戻ってきた日章旗を前に、2度と戦争することがないよう平和を求め運動を行っている決意と、連帯のメッセージをランナーへ贈りました。

最後にランナーと応援に駆け付けた人たちと『戦争を知らない子供たち』を歌ったあと、長崎へ向けて再び走り始めるランナーを拍手で見送りました。



高橋ゆうすけ 活動日誌

- 30日(木) 駅頭宣伝/港職労定期大会
- 31日(金) 反核平和マラソン
- 1日(土) 街頭宣伝/大生学区盆踊り
- 2日(日) 大磯学区盆踊り
- 3日(月) 団会議/臨時教員の会市教委懇談
- 4日(火) 党青年学生対策委員会
- 5日(水) 区交渉/沖縄情勢学習会

ハッピー ついでと♪

「伝統について考える
～盆踊り～」

先週は片面印刷の市議団ニュースとなったためお休みしてしまいましたハッピーついでと、今週はしっかり書いていきます。

今日のテーマは「盆踊り」。公職者ということもあって、盆踊り会場に行くと来賓席に案内されたりもするのですが、「かわさき」「炭坑節」などを聞いてると完全には覚えていないものついでと踊りたくなくて一緒に輪の中に入って踊ったりもしています。

ところで盆踊り、全国各地で様々な形式のものがあり、郡上踊りなどは有名ですが、実は沖縄のエイサーも盆踊りの一つということはお存じだったでしょうか? 今のよう派手な形式になったのは戦後、沖縄市の青年たちが始めたことをきっかけのようですが。他にどんな盆踊りがあるのか調べていたら意外なものが結構新しいものなんだなあとびっくりすることもありました(土佐のよさこい踊りも戦後、阿波踊りに対抗してできたもの)。

伝統というのは、新しいものを取り入れながら進化もしていくものなんだと、盆踊りの事を調べる中で強く感じた今日この頃です。

労働条件を下げないで! 臨時教員の会が市教委と懇談

8月3日(月)愛知・臨時教員制度の改善を求める会と名古屋市教委が、教員採用制度と2017年度に行われる教職員給与等の権限移譲に伴う労働条件の申し渡しの懇談を名古屋市教育館で行いました。

参加した臨時教員からは「愛知県と名古屋市の労働条件の差が大きすぎる。県に人材が流れるのではないか」などの声が出され、保護者の立場の方からも「臨時の先生がこんなに低い労働条件で働いていることに驚いた。臨時の先生が来なくなってしまうたら子どもたちの教育はどうなるのか」と不安の声もだされました。懇談には高橋・くれまつ順子議員が同席しました。

日本共産党南区後援会

第32回 郡上おどりとアユの旅

8月22日(土)・23日(日)

参加費13,000円(一泊3食送迎付)

詳しくは日本共産党南部地区委員会

052-652-1841 まで